

おげんきでですか。

おうちの
手づくりグラウンド
見てもらいん!

第12号
2020.9



私たちの地域の支え合い情報紙

～生活支援体制整備協議会ってなに？～

美里町社会福祉協議会では、人との“つながり”を育みながら、だれもが安心して地域で暮らし続けられる美里町を目指し、平成 29 年度から美里町より「生活支援体制整備事業」を受託して、支えあいの地域づくりを推進しています。

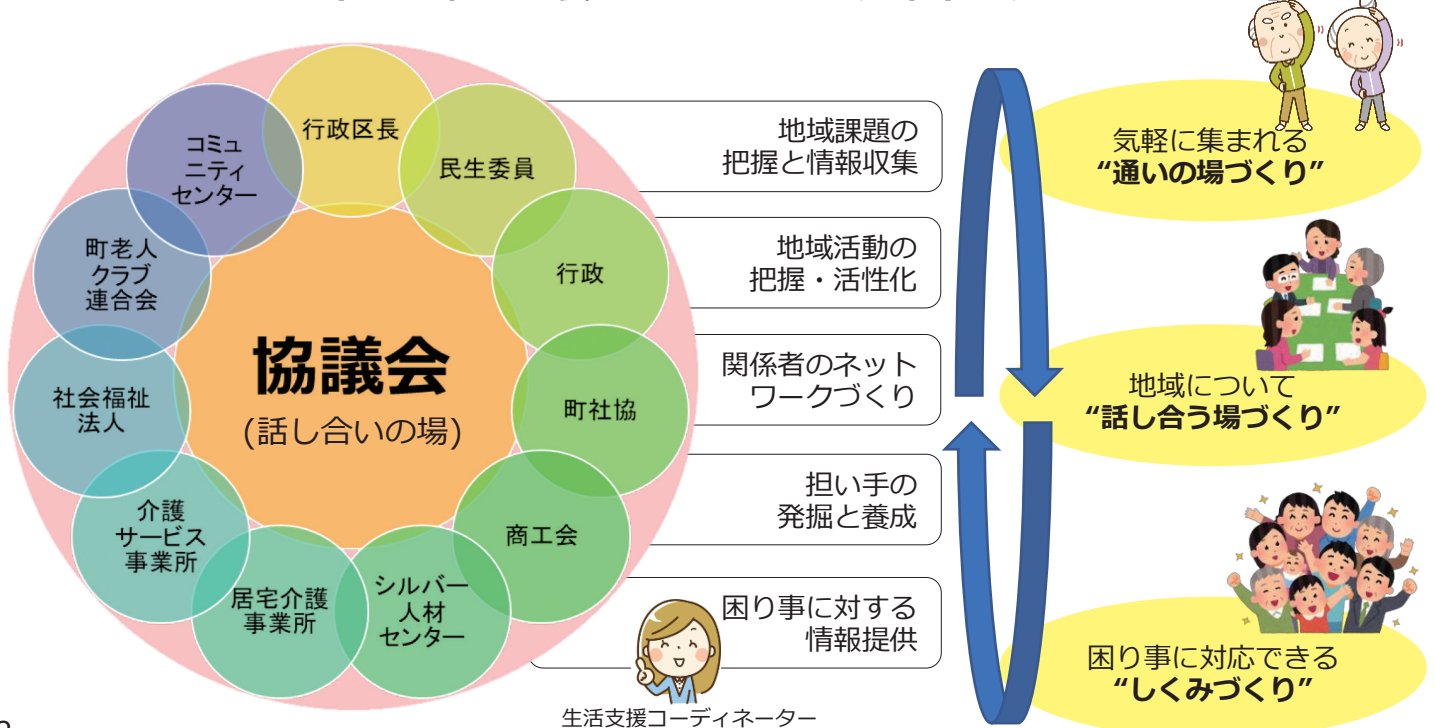
生活支援体制整備事業では、支えあいの地域づくりを話し合う場として「美里町生活支援体制整備協議会」を設置しています。そこでは、地域のお宝^{※1}や課題などを把握し、対応策や解決していくためのしくみ等について話し合いを重ねています。また、生活支援コーディネーター^{※2}と協働して、3つの地域づくり(①気軽に集まれる“通いの場づくり”②地域について“話し合う場づくり”③ちょっとした困り事に対応できる“しくみづくり”)を進めています。

支えあいの地域づくりの基盤は、人との“つながり”です。しかし、現在は地域で、人が集い・ふれあい・顔を合わせて交流することが難しい状況が続いています。だれもが不安を抱え生活している今、改めて人との“つながり”が私たちの生活を豊かにしていたこと、そして地域の支えあいが大きくならしの安心につながっていたことに気づかされました。

そこで、新しい生活様式^{※3}を取り入れながら「一人ひとりが、おたがいに気にかけて、つながりあう」工夫を様々な団体とともに考え、これからのくらしに合った新しい支えあいの地域づくりを推進していきます。

- ※1 地域のお宝：くらしの中にある集いの場・健康づくりの場やさりげなく行われているおたがいさまの支え合いのこと。
- ※2 生活支援コーディネーター：「支え合い推進員」とも呼ばれ、地域の方と一緒に、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう地域づくりを行います。
- ※3 新しい生活様式：身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いの実施や「3密（密集、密閉、密接）」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

【生活支援体制整備協議会と生活支援コーディネーターのイメージ】



美里町生活支援体制整備協議会委員をご紹介します！

おのとしつぐ
会長 小野俊次



美里町 不動堂 6 区行政区長

地域づくりは、ゴールのないみちのりです。今ある地域のお宝を大切に育みながら、おたがいさまの支えあいの輪を広げる地域づくりを委員の皆さんと取り組んでいきます。

わたなべ
副会長 渡邊かおり



新みやぎ農業協同組合
福祉業務課長

JA 新みやぎでは、地域共生社会の実現に向け「介護予防・生活支援サービス」に取り組んでいます。つながりや支え合いを大切に安心して生活が継続できるよう活動していきます。

つのだ
委員 角田フミコ



不動堂地区
民生委員児童委員協議会 会長

民生委員活動の傍ら協議会委員として、だれもが安心して自分らしく生活できる地域づくりに参加しています。今後は、“互助のチカラ”を活かした地域づくりに取り組んでいきます。

ささきよしお
委員 佐々木義夫



(有)まりちゃん家 取締役

美里町の高齢化率も 35% となりました。いろいろな活動を自粛せざるを得ない現状ですが、だれもが安心して暮らせる美里町を目標に一步でも前進できるように頑張ります。

いとうしゅうじ
委員 伊藤秀司



(公社)美里町シルバー人材センター
事務局長

少子高齢化や家族形態が変化している今、シルバー人材センター事業活動を通して得た知識や情報等を活かしながら、協議会委員として、支え合いの地域づくりを推進していきます。

しらいしじゅんや
委員 白石淳弥



遠田商工会 主査 経営指導員

地域の会員事業所の皆さまが抱えている経営上の問題解決や地域活性化のイベントに関わっています。より良い地域づくりのため、委員の皆さまと一緒に話し合いを行っていきます。

まつだまさとし
委員 松田正敏



美里町老人クラブ連合会 副会長

不安の多い先行き、福祉の充実をどこまでやればいいのか、上からの目線ではなく、少し控えめな発想で取り組んでいきたいと思えます。

おのゆうや
委員 小野祐哉



(社福)南郷福祉会 常務理事

“地域共生社会”にあたり、「この地域にあって良かった！」と思い、感じて頂けるよう、地域の皆さまと共に努めて参りたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

すがわら とおる
委員 菅原 亨



北浦コミュニティセンター 事務長

北浦コミセンでは、行政区や各種団体と連携を取りながら「地域の中心的役割を担う拠点」を目標としています。人とのつながりを保ち安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。

美里町のお宝を紹介します

～ 地域編 ～

暮らしの中のさりげない見守り・助け合い・健康づくりや介護予防など世代を問わない活動はたくさんあります。

いつから再開する？

STEP1
まずは、
みんなで
話し合い！



地域でのふれあいや交流活動が難しい未曾有の事態が続く中、それに負けない地域のチカラやアイデアを活かした活動が動き出しています。

生活支援コーディネーターも一緒に考えます！



つながるためだよ。



STEP2
活動の目的を
再確認！

自粛期間での気づきを活かし、新しい生活様式をとり入れながら、少しずつ地域福祉活動も再開し始めています。

こんなのはどう？



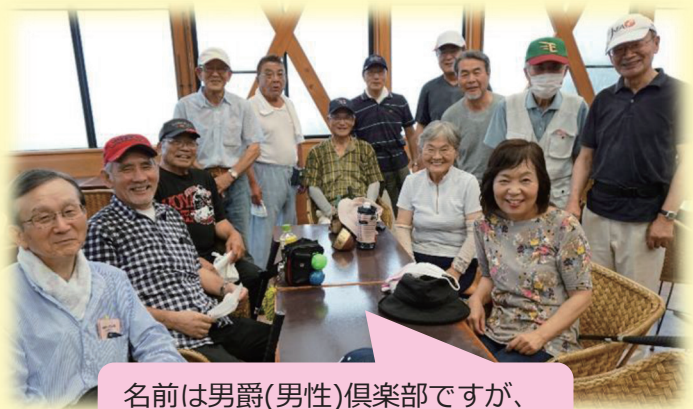
STEP3
アイデアを
出し合おう！

その1

だんしゃくくらぶ 駒米『男爵倶楽部』

駒米男爵倶楽部は、地域住民の閉じこもり予防と健康づくりを目的に毎週月曜日、駒米集会所などで活動しています。活動内容は、ウォーキングやパークゴルフ、カラオケや健康麻雀など週によって様々で“地域の通いの場”となっています。自粛期間はお休みしましたが、6月から活動を再開しました。

「男爵倶楽部の活動が身体を動かす機会になっている。仲間から刺激をもらえるし、地域とつながる場にもなっている。」と自粛期間を経て、改めて活動の意味や効果を実感したという声が聞かれました。



名前は男爵(男性)倶楽部ですが、メイクイン(女性)も大歓迎です！

(駒米行政区)

通いの場の効果は無限大∞！

**みんなと顔を合わせることが
一番の健康づくり**

その2

しょうぶくかい 中二郷『笑福会』

中二郷地区の笑福会は、毎月第一月曜日に慶半コミュニティセンターで、健康づくりと交流を目的に歌や体操などで楽しい時間を共に過ごしています。自粛期間はお休みしていましたが、7月から活動を再開しました。

メンバーの「町民バスを利用したいけど、乗ったことがないから不安なの。」といった声をきっかけに、昨年みんなでバスの乗車体験を兼ねたバスツアーを実施しました。一人の不安をみんなで解決！日頃の交流があるからこそ、仲間のつぶやきを逃さずキャッチできるんですね。



(中二郷地区)

日頃の交流⇒支えあう関係へ！

**一人では難しいことも
仲間が一緒なら大丈夫**

※写真は令和元年12月に撮影したものです。

その3

不動堂7区『グラウンド・ゴルフ』

不動堂7区では、お茶飲み会の開催について検討を行いました。自粛期間の影響で、集まる機会が減ったことや運動不足が心配されたため、地域内の空き地を整備してグラウンド・ゴルフをすることにしました。すると、顔を合わせ交流する機会が増え、運動不足も解消され、ますます地域が元気になりました。

お茶飲み会とグラウンド・ゴルフでは、活動内容(手段)は違いますが、“つながりあい・気にかけて合う”という本来の目的を達成することができ、地域に笑顔が増えています。

※今後のお茶飲み会の開催については検討中です。



(不動堂7区行政区)

アイデアで地域を笑顔に！

**“つながる”方法を
地域みんなで考える**

美里町のお宝を紹介します

～福祉事業所編～

美里町には、地域の一員として地域づくりに参画している事業所がたくさんあります。

社会福祉法人 もり むら 杜の村 もりしょうゆうえん みさとの杜翔裕園

「もりしょうゆうえんみさとの杜翔裕園」は2006年5月に開所し、町内で介護老人福祉施設（ユニット型）・短期入所生活介護・居宅介護支援事業を運営しています。現在約70名の職員とともに利用者さんの今日という一日が楽しい日になるようサポートしています。

施設を運営する佐々木透施設長は、「開所から14年。私たちは『家族主義』『共に生きる』の基本理念を基に、利用者さまの笑顔を励みに職員一同、地域に根差した施設を目指して事業に取り組んでいます。」と力強く語ります。介護の現場では、利用者さまの身体への負担軽減を目的に、ノーリフティング(持ち上げない移乗介助)に力を入れています。福祉用具を使用した“持ち上げない介護”の徹底により、職員の腰痛予防等のリスクを抑えるとともに、ケアの質の向上を目指している姿が印象的でした。

コロナウイルス感染症の影響では、施設の面会を休止にする苦渋の決断をしました。そんな中、いち早く“リモート面会”を取り入れ、利用者さまと家族がつながる機会をつくり、顔の見える安心を支援しました。「元気をなくしかけた利用者さまに笑顔が戻り、私たちもホッとしました。」と佐々木施設長は振り返ります。直接的な面会は感染症対策のもと7月から再開しています。

いつもの日常が戻った際には、これまでの傾聴や演芸といった地域のボランティアさんの協力のもと地域交流を積極的に行っていくとともに、社会福祉法人としてより地域貢献に力を入れていくそうです。



【連絡先】社会福祉法人 もり むら 杜の村 もりしょうゆうえん みさとの杜翔裕園
介護老人福祉施設/短期入所生活介護/居宅介護支援事業
〒987-0038 美里町駅東二丁目 17 番地 5
電話 33-3255



～職員のみなさん～



私のまちの地域支え合い情報紙「おげんきですか。」

表紙の写真：不動堂7区行政区のみなさん

発行日 令和2年9月1日
発行・編集 美里町生活支援体制整備協議会 【美里町・社会福祉法人美里町社会福祉協議会】
〒987-0038 宮城県遠田郡美里町駅東二丁目17-4 (美里町駅東地域交流センター内)
TEL: 0229-32-2940 FAX: 0229-32-5160 E-mail: misato@misato-wel.com